

# 第1期事業報告書

## 1.事業の概況

当機構の前身は、財団法人日本バレーボール協会の中の1組織として日本のバレーボールのトップリーグである日本リーグ(全日本バレーボール選抜男女リーグ、1967～1993年 27回)とその発展的展開であるVリーグ(1994～2004年 11回)の運営を38年間に亘り担って参りました。

平成17年9月1日、リーグの一層の活性化とバレーボール界全体の強化、普及発展を目指し運営する組織の一層の強化を図るため、財団法人日本バレーボール協会(JVA)とVリーグ参加チームの企業の出資をもって 有限責任中間法人日本バレーボールリーグ機構として独立し法人化しました。

創業初年度に取り組みました第12回Vリーグは、国際大会等の関係から11月を挟んで第1幕、第2幕と変則的な開催の大会となりましたが、大会関係者各位のご協力を賜り総入場者数は401.3千人に達し、昨年度比 2%の増加を見ることができました。

今年度 新たに取り組んだ事業としては、日韓両国のバレーボール関係者の念願であった日韓交流戦の開催について 韓国バレーボール連盟(KOVO)と合意し、「日韓V.LEAGUE TOP MATCH」の名を冠し 両国の今年度のVリーグ男女上位2チームによる大会を 東京(女子大会)とソウル(男子大会)で各々開催しました。

又、「アジアクラブ選手権大会」については 平成14年を最後に参加を見合わせていましたが、トップリーグの国際競技力強化、アジア地域におけるスポーツ文化交流の面で重要な大会であることから 5月に第12回Vリーグ男女上位各1チームをベトナムとマニラに派遣しました。

その他、トップリーグとして取り上げ継続して実施しているVリーグ参加チームによる「バレーボール教室」の開催は、開催日数、参加生徒数とも昨年度比2.7倍に増やし ジュニア育成、各地域のバレーボールの普及、活性化に大きく貢献すると共にホームゲームの活性化に結びつけました。

ファンサービス等の面では、第12回Vリーグの個人表彰式に 初めての試みではありますが、「ファン感謝の集い」を併催し、ファンを大事にしている姿勢を打ち出すと共に、Vリーグのホームページを利用者の利便性と広報強化面から改善を加えインターネット時代に即したものに充実させると共にメールマガジンの発行も始めました。

運営組織等につきましては、Vリーグ参加チームの他、JVAの各専門委員会の責任者も参加した会議体に再整備すると共に、規定類の整備も図り、意思決定等に円滑、迅速、透明性を持たせたマネジメント体制を確立しました。

一方、残念であります但し当期はVリーグの2チームが廃部に至る事態が生じたことから、廃部に対する当機構としての予防策、支援対応策の強化について再認識させられましたところであります。

活動成果を経営数値面でみますと 当期の事業収益は 総額 428百万円、費用総額は 420百万円、経常利益 8百万円となり、4百万円の当期利益を計上することができました。

今後の見通しにつきましては、チーム廃部の影響等諸リスク要因がありますが、法人設立に際し掲げた活動の指針としての5つのキーワード(・世界に挑戦・地域に密着・常に発展・ファン重視・成果の拡大)を基本に JVA、各都道府県バレーボール協会他関係諸団体各位との良好な関係に一層の改善を図るとともに、バレーボール関係者各位のご協力を賜りより活性化した組織運営と活動を推進し、社員各位のご期待に応えていく行く所存です。

## 2.法人の概況

### 1) 事業目的

当法人は、当法人が運営するVリーグに所属するバレーボールチームを有する社員のため、試合の企画、諸規定の整備、広報活動、知的財産権の管理、その他Vリーグに関わる諸問題に対処することにより 社員の発展に寄与し、もって社員に共通する利益を図るとともに 財団法人日本バ

レーボールリーグ協会の傘下団体として、世界のトップリーグを目指し日本のバレーボール水準の向上及びバレーボールの普及を図ることにより、豊かなスポーツ文化の振興並びに国民の心身の健全な発達に貢献できることを目的とする。

バレーボールを通じ、新たなスポーツ文化価値を広く社会にアピールし、地域社会の活性化や次世代を担う青少年の育成など、わが国競技スポーツのトップリーグのスポーツ文化の創造の先駆的役割を果たすことも当法人の目的としています。

2) 社員と基金の状況（平成18年6月30日現在）

| 社員の名称             | 基金の口数 | 基金の額<br>(円) |
|-------------------|-------|-------------|
| 財団法人日本バレーボール協会    | 12    | 6,000,000   |
| 旭化成株式会社           | 1     | 500,000     |
| 株式会社ウオーク          | 1     | 500,000     |
| サントリー株式会社         | 1     | 500,000     |
| 株式会社武富士           | 1     | 500,000     |
| 株式会社デンソー          | 1     | 500,000     |
| 東北パイオニア株式会社       | 1     | 500,000     |
| 東レ株式会社            | 2     | 1,000,000   |
| 豊田合成株式会社          | 1     | 500,000     |
| 日本たばこ産業株式会社       | 2     | 1,000,000   |
| 日本電気株式会社          | 2     | 1,000,000   |
| 久光製薬株式会社          | 1     | 500,000     |
| 株式会社日立製作所         | 1     | 500,000     |
| 株式会社日立ディスプレイズ     | 1     | 500,000     |
| 株式会社プレイザーズスポーツクラブ | 1     | 500,000     |
| 松下電器株式会社          | 1     | 500,000     |
| 計                 | 30    | 15,000,000  |

3) 理事並びに監事（平成18年6月30日現在）

| 氏名     | 法人における地位 |
|--------|----------|
| 山岸 紀郎  | 代表理事     |
| 梅野 實   | 理事       |
| 中野 泰三郎 | 理事       |
| 橋爪 静夫  | 理事       |
| 丸山 誠   | 理事       |
| 江原 寛   | 監事       |
| 吉田 司   | 監事       |

注) 上記の理事 並びに 監事の各氏は、平成17年8月6日開催の設立社員総会において理事 並びに 監事に選任され 就任いたしました。

4) 職員等の状況（平成18年6月30日現在）

|     | 男子 | 女子 | 計  |
|-----|----|----|----|
| 常勤  | 3人 | 2人 | 5人 |
| 非常勤 | 1人 |    | 1人 |
| 計   | 4人 | 2人 | 6人 |